

教師・セラピストのための 「こころ」と「からだ」の発達支援 ～臨床動作法・心理リハビリテーション入門～

日時 11/15 (日) 10:00 ~ 12:00

会場 九州大学大学院人間環境学府附属
総合臨床心理センター 

講師 古賀 聡 臨床心理士、公認心理師
九州大学大学院人間環境学研究院 准教授

子どもたちの支援に関心がある教師、セラピストのためのワークショップです。

- ◆脳性麻痺などの肢体不自由のある子ども
- ◆不器用さがあり協調運動が苦手な子ども
- ◆落ち着きがなくソワソワしている子ども
- ◆常に過緊張で不安が強い子ども
- ◆感情・行動コントロールの難しい神経発達症（発達障害）の子ども

入門編として、臨床動作法（心理リハビリテーション）についての講義を行い、ボディワークを中心とした実習を行います。子どもたちへの導入においては、遊びの要素も取り入れ、楽しみながら自分の「からだ」や「こころ」に関心を向けていけるように工夫します。今回は導入の際の実践的なコツなどもお伝えする予定です。ボディワークを行いますので、動きやすい服装でご参加ください。

対象者 教師、子どもの健康支援、
発達支援に関わる対人援助職 20名

参加費 無料 申込 右のフォームから
お申込ください

<https://forms.cloud.microsoft/r/r6WX7T7P5Y>



ボディワーク・臨床動作法について

今回のワークショップでご提案するボディワークは、臨床動作法（心理リハビリテーション）といい、成瀬悟策九州大学名誉教授によって考案されました。特別支援教育における自立活動や医療機関、福祉施設における心理療法として用いられています。

臨床動作法では動作を「意図→努力→身体運動」として定義し、心身の総合的活動と考えます。言葉でのカウンセリングや心理教育では対応が難しい子どもにとっても、シンプルな動作課題は取り組みやすく、先生やセラピストと楽しみながら取り組むことができます。

本研修会は、九州大学基金「こころとからだを育む—発達支援と心理リハビリテーション拠点整備プロジェクト」の助成を受けて開催致します。